

臨時休業中の課題を機能させる

～グループLINEで解説動画やってみました～

札幌啓成高校 杉本 拓也
(※前任校の実践です)

解説動画作成して5年目。

長期休業中の課題テストの点数悪い

→身についていない

→解説見てもわからない問題

→生徒のモチベーション↓

→&自由な夏休み満喫したい思いと誘惑

→「(わからないまま)解説写して提出しよう！」

という現状が毎年繰り広げられる...

∴動画を作り、生徒のモチベーション↑&理解向上へ

解説動画

(方法)

①数学科・教務部・管理職・教育委員会に確認
(個人情報や著作権等の問題確認)

②保護者承諾書

(希望者のみ。通信料の兼ね合いのため)

③配信ツール作成

※生徒がスマホでよく見るアプリ、生徒以外がみられないもの、質疑応答ができる返信機能ついているもの→ひとまず、グループLINEでチャレンジ！

解説動画

(方法)

④スマホで解説動画作成。

1人静かなところへ(チャイム音入る)

解説用紙とペンを映す(顔写しは怖いので...)

※個別指導のような雰囲気が出る。

5分以内(LINEで送れるサイズ。長いとみない)

1発OK(TAKE2、3...は時間かかる)

動画編集なし。そのまま送る(楽にやる)

やってみて気づいたこと

- 初年度失敗。(あまり見なかった)
 - 私から一方的に送ったため、受け身に。
 - 生徒から質問を出してもらい、それについて動画を作成するスタイルに。
 - 定着。機能し始める。

※黒板使った説明もやってみたが、解説とペン映した動画とあまり効果差は感じませんでした。(生徒は顔写った動画欲がる)

やってみて気づいたこと

メリット

- ・生徒が気軽に聞ける。個別指導のような効果で、生徒のモチベーション上がる
- ・グループLINEで質問が出ると、周りも「ここまでやっているんだ、頑張ろう」と刺激になる。
- ・質問を躊躇する物静かな子は個別LINEで聞いてくれる。そこで対応後、グループLINEに動画を貼れる。

やってみて気づいたこと

デメリット

- ・作るの割と大変。楽にできるようにした方が○
- ・卒業後も数学の質問が突如くるときがある
(逆行列、位相生成行列、カナダから英文の問題...。思い出し、調べて、答えて...) → 「あくまで高校の授業のサポートと生徒に言うておく」

臨時休業中の課題に効果あり

○ただ、範囲と市販の解答を渡すより、生徒はモチベーション高く頑張れる。臨時休業がまた起きてもサポートしやすい。

○グループLINE内で質問を生徒同士が教え合う活動や、グループ通話を使えば動画授業もできる。スクショで板書写しに(※WI-FI環境の配慮必要)

○ZoomもOKだが、生徒の身近なLINEも使える。動画は残るので、何回も解説見られるのは強み。

拙い実践例ですが、何かヒントになれば幸いです。